



本社 事業所

- 本社所在地：埼玉県草加市青柳2-19-10
- 事業概要：一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、資源リサイクル、下水道維持管理、給水施設維持管理、浄化槽維持管理、ガソリンスタンド運営、警備業務
- 常時使用する従業員：190名
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：37億円
(2025年6月期)
- 法人番号：2030001034967
- Web：http://www.scs-kk.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
野崎 友義

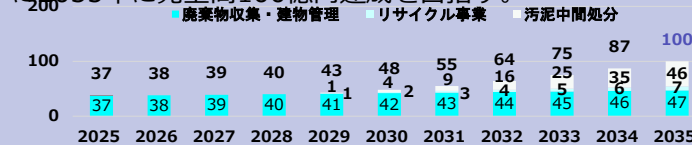
「草加から未来へ。地域完結型の資源循環モデルで、100億円企業へ挑む」

創業以来、私たちは草加市を拠点に、廃棄物収集・ビルメンテナンス・下水道管理など「地域の生活インフラ」を支えてまいりました。100億円企業への挑戦は、単なる規模拡大ではありません。「運ぶ・守る」だけの業務から脱却し、地域で出た廃棄物を地域で資源に変える「創る」企業への進化です。社員の生活向上と地域経済への貢献を両立させ、次世代に誇れる「SCS循環モデル」をここ草加で実現することを誓います。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

【地域完結型モデルの構築】草加市内で廃棄物処理を完結させるインフラを構築、地域の環境負荷低減と雇用創出を牽引すると共に2035年に売上高100億円達成を目指す。



課題

【高収益体質への転換】売上拡大が労働力に依存する既存の収集運搬業の構造的問題を解決するため、付加価値の高い装置産業（処理・リサイクル）を組み合わせた高体質への転換を図る。

【処理の内製化】収集した廃棄物処分の外部委託費や長距離輸送によるCO2排出を削減するため、処理の内製化を図る。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

【中間処理施設の建設】草加市内に自社の「中間処理施設」を建設し、収集から処理までの一貫体制を構築する。

【汚泥の資源化】処理困難物である「汚泥」等の有機性廃棄物を、減容化・燃料化・堆肥化する高度な技術を導入する。

【リサイクル販売の事業化】廃棄物を処理するだけでなく、再生した資源（固形燃料、肥料等）を販売する「リサイクル販売」事業を立ち上げ、新たな収益源とする。

実施体制

【自区内処理体制の実現】地域住民や行政と連携し、廃棄物を他地域へ持ち出さずに処理する「自区内処理」の合意形成とインフラ整備を行う。

【サーキュラーエコノミーの構築】技術導入に加え、排出した資源を再び地域社会で利用する循環ルート（サーキュラーエコノミー）を草加市において確立する。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高

